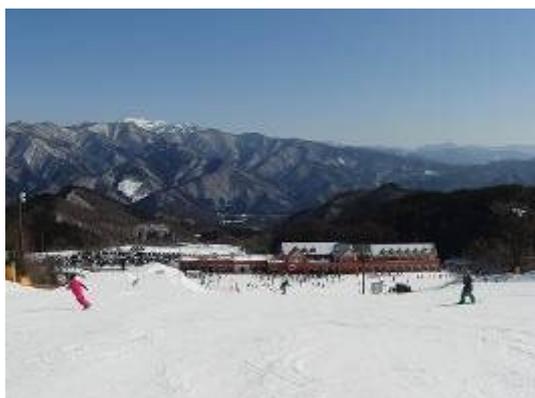


群馬スノーアライアンス株式会社

安全報告書（2013年）



吾妻耶山第1クワッドリフト
吾妻耶山第2ペアリフト（冬・春）
吾妻耶山第3クワッドリフト
吾妻耶山第4ペアリフト

ノルン水上スキー場
ノルンみなかみフラワーガーデン

利用者の皆様へ

平素より、弊社の索道事業に対して、ご利用およびご理解頂きまして、誠にありがとうございます。

弊社は、【お客様の安全確保】を第一に、各索道設備における点検整備の実施・強化、法令遵守の徹底、人材の訓練など、安全輸送に最大限努めさせていただいております。その結果、昨年度も多くのお客様のご来場を頂きましたとともに、重大な人身事故・運転事故もなく、営業を終了しましたことをご報告致します。また、平成 24 年 9 月末まで重大事故が皆無ということで、関東運輸局より表彰をいただいております。

今年度につきましても、ご来場していただきましたお客様に、安心して弊社施設をご利用いただけるよう、安全基本方針に従い、全社一丸となって輸送の安全確保に努め、地域社会におけるスキー場の役割を果たしてまいります。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保の取り組みや安全の実態について自ら振り返るとともに、お客様に広くご理解を頂くために公表するものです。皆さまからの声を更なる輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

1. 基本方針

(1) 基本方針

当社の起業行動指針の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底してまいります。

『法令を遵守し、索道輸送の安全を確立して、地域社会に貢献する』

- ① 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
ノルン水上スキー場、全社員で安全を守ります。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
法律や約束(鉄道の関係法令など)を守って仕事をします。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- ⑥ 情報はもれなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

(2) 安全目標

索道運転事故件数ゼロを目標とします。

2012年・2013年(以下、平成24年度)の目標を達成しました。

引き続き一致団結して、設備不具合事故、人身傷害事故数ゼロに向けて安全輸送に取り

組む所存です。

2. 事故等の発生状況とその再発防止措置

- (1) 索道運転事故
平成24年度の当社索道運転事故の発生はありませんでした。
- (2) 災害（地震及び暴風雨、豪雨など）
平成25年2月25日 16時23分頃 栃木県北部を震源とする地震の為
吾妻耶山第3クワッドリフトを一時休止し設備の安全点検時実施致しました。
上記地震による負傷者、施設被害はございませんでした。
- (3) インシデント(事故の兆候)
平成24年度の当社索道運転でのインシデント発生はありませんでした。
- (4) 行政指導等
25年2月13日、14日に関東運輸局鉄道部による保安監査を実施致しました。
保安監査の結果、3件の指示を受け内1件(救助装置の個数と配置)について当社施設に
適した管理体制にする為、施設変更届出を行った。
2件については、索道施設の検査・管理体制を的確に実施する為の整備細則(付随
する書類等)を見直し変更の届出を行いました。
- (5) その他の状況（以下の通り安全行動を行い、ご迷惑をお掛け致しました。）
強風による一時減速等の安全確保運転を適宜実施致しました。(風速15m/s以上)

3. 安全輸送のための取り組み

(ア) 人材教育(各種索道研修会の参加)

1. 関東鋼索交通協会主催

平成24年度索道技術管理員等講習会（2日間）	2名
日本ケーブルテクニカルセミナー	
電気中級	1名
電気中級	1名
握索装置（DS）	1名

2. 国土交通省 関東運輸局主催

平成24年度索道技術管理者研修会（2日間）	1名
-----------------------	----

3. 社内研修会の実施

12月17日、18日 冬期索道スタッフ全体研修会を実施しました。

日本ケーブル株式会社新潟サービスセンター 所長を迎え索道技術管理者、索道
技術管理員、冬期索道スタッフ研修会を実施しました。

※その他救助訓練およびミーティング資料・保安情報にて安全に関する教育を逐次

実施しました。

(イ) 緊急時対応訓練

当社は、冬期シーズンの営業前冬期索道全、パトロール、スクールスタッフが参加し、緊急時を想定した、索道の救助訓練を実施しております。

①平成24年12月 17 日(月) 14:00～15:30 クワッドリフト救助訓練



②平成24年12月 18 日(火) 14:00～15:30 クワッドリフト救助訓練



③平成 24年 12 月 22日 (土) 16:30～18:00 クワッドリフト救助訓練(スクールイントラ)



※その他、救助訓練をシーズン中に実施致しました。

(ウ) 安全のための投資と支出

平成24年度は安全の維持、向上のため、下記の表のとおり費用を投じ修繕・維持を実施いたしました。

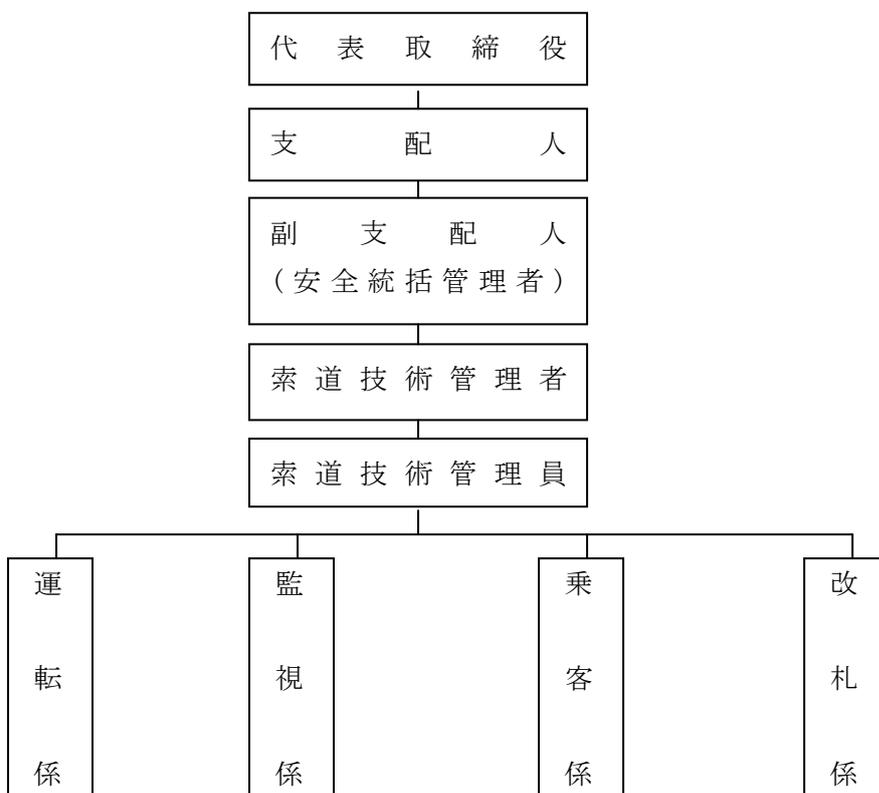
<p>吾妻耶山第1クワッドリフト</p> 	<p>主原動機メーカー分解整備 ユニバーサルジョイント分解整備 索受装置分解整備 第9号、16号、18号、号、19号、21号、22号支柱 整備実施 シーズン中、2回の索道メーカー点検を実施</p>
<p>吾妻耶山第2ペアリフト</p>	<p>減速機・油圧関係オイル交換</p>
<p>吾妻耶山第3クワッドリフト</p> 	<p>握索装置分解整備 81台 標準交換部品及びサラハネ交換 ※全数の磁粉探傷試験を実施 一部のメインパーツ・クランプピースを更新 握索機8台を索道メーカーによる非破壊検査(MT)を実施 シーズン中、2回の索道メーカー点検を実施</p>
<p>吾妻耶山第4ペアリフト</p>	<p>支柱ロープセンター調整整備 減速機・油圧関係オイル交換 全支柱グリスアップ</p>

平成25年度の整備計画は以下を予定致しております。

<p>吾妻耶山第1クワッドリフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 索受装置整備 ・ 握索装置分解整備 	<p>吾妻耶山第2ペアリフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 油圧緊張設備整備
<p>吾妻耶山第3クワッドリフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 折返機械室塗装 	<p>吾妻耶山第4ペアリフト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主原動機整備

4. 当社の安全管理体制

代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしております。また、各現場にて業務報告書を通じ、ヒヤリ・ハットや反省、気付き、改善提案等を索道技術管理員へ報告し、日々の業務に反映させております。



代表取締役	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
支配人	事業全体の業務を統括する。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の業務を補助する。

重大事故、自然災害等発生時の対応について

(1) ご利用の皆様への案内

- ① 場内アナウンス等により発生場所、内容等をご案内致します。
- ② 避難場所、集合場所等をご案内致します。
- ③ 復旧の見込みが立たない場合、救助方法、救護場所をご案内致します。

(2) 緊急時の救助体制

- ① 事故（災害等を含む）状況に応じ、各リフト別に定めた救助体制により救助班を

組織し救助活動を開始致します。救助には教育を終了した職員等を現地に派遣致します。

② 必要に応じ、消防・警察等へ通報し出動を要請致します。

(3) 救護について

① 常駐パトロール隊員による搬送及び救護を行います。

② 救助搬送には、公認パトロール資格を有した隊員が安全に行います。

(4) お客様へのお願い

① 緊急時は、職員及び場内アナウンスの指示に従って行動をお願い致します。

② リフト、建物等からの飛び降りを行わないようお願い致します。飛び降りの弾みによる、脱索（タイヤからロープが外れる状況）で他の乗客へ危険が及ぶ場合がございます。

③ 救助・救護では、怪我、体調不良等の方を優先致します。

④ 建物の非常口等の案内に従い行動をして下さい。

⑤ 事故等を目撃されたお客様は、係員等に通報をお願い致します。

■連絡先 群馬スノーアライアンス株式会社 0278-72-6688

5. 利用者の皆様の連携とお願い

(ア) お客様の声をかたちにし、お客様の期待に応えられるよう努めてまいります。

お客様からお寄せいただいた声を真摯に受け止め、より信頼され安心・安全なサービスが提供できるように役立てます。

(イ) リフト乗車時の注意事項

- ・お客様の行動は、リフトご利用のお客様全員の安全に関わっています。
- ・リフトのご利用には、責任と義務が伴います。
- ・次のことを守ってください。

<乗車時>

- ① リフトの乗り降りに不安のあるお客様は、係員まで申し出てください。
- ② スノーボードご利用の場合リーシュコード(流れ止め)を必ず着用して下さい。
- ③ 「のりば」でスキー・スノーボードを正しく前に向けてお待ちください。
- ④ 第2ペアリフトでは、乗車後すぐに足を上げて下さい。(すいせん園の乗車時)
- ⑤ 乗れなかったら、すぐにリフトから離れてください。
- ⑥ ストック等が隣のお客様に迷惑にならないようご注意ください。
- ⑦ リュックサック等荷物、衣類等の紐にご注意ください。

<乗車中>

- ① セーフティーバーを下ろし、深く腰をかけてください。(第1・第2・第3リフト)
- ② 乗っている時は、次のことを行わないでください。
 - ア、イスを揺らすこと。
 - イ、イスから飛び降りること。
 - ウ、イスの上でふざけたり、後ろを向いたりすること。

エ、ストック等で柱や雪面などにさわること。

- ③ リフトが止まっても飛び降りないでください。
- ④ リフト乗車中は禁煙となります。
- ⑤ リフト乗車中は、身の廻り品や物品の落下にご注意ください。

<降車時>

- ① 「おりば」が近づいたら降りる準備をし、降りた後はまっすぐ進み、次のお客様の迷惑にならないよう注意ください。
- ② 降りられなかったら、そのままイスに座っててください。

<その他>

ソリ等固定具の付いていない用具でのご乗車はご遠慮下さい。

係員の指示に従ってください。

今年度以前の安全報告書を希望の場合は、お問合せ下さい。

ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒379-1614 群馬県利根郡みなかみ町寺間479-139

群馬スノーアライアンス株式会社

T E L 0278-72-6688 F A X 0278-72-6660 E-mail info@norn.co.jp